



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月12日

上場会社名 東京テアトル株式会社
コード番号 9633 URL <https://www.theatres.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長
半期報告書提出予定日 2025年11月12日
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 太田 和宏

(氏名) 松岡 毅

TEL 03-3355-1010

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	10,119	8.2	84	—	108	—	679	71.5
2025年3月期中間期	9,352	6.6	46	—	18	—	2,385	744.1

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 1,096百万円 (56.0%) 2025年3月期中間期 2,491百万円 (291.2%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	98.74	—
2025年3月期中間期	332.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	29,553	16,489	55.7	2,412.40
2025年3月期	28,907	15,555	53.7	2,251.79

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 16,465百万円 2025年3月期 15,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期(予想)			—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	1.0	50	81.3	50	81.6	600	80.3	84.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	8,013,000 株	2025年3月期	8,013,000 株
2026年3月期中間期	1,187,597 株	2025年3月期	1,117,295 株
2026年3月期中間期	6,877,350 株	2025年3月期中間期	7,182,359 株

期末自己株式数

期中平均株式数（中間期）

第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、[添付資料] 4 ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

2026年3月期中間連結会計期間（以下「当中間期」といいます。）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクや、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当中間期の連結業績については、中古マンション再生販売事業が好調に推移した他、飲食事業の増収により、売上高は10,119百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は84百万円（前年同期は営業損失46百万円）、経常利益は108百万円（前年同期は経常損失18百万円）となりました。一方、前年度に多額の特別利益を計上した反動減により、親会社株主に帰属する中間純利益は679百万円（前年同期比71.5%減）となりました。

■連結経営成績（百万円）

	前年同期	当中間期	増減
売上高	9,352	10,119	+766
営業損益	△46	84	+130
経常損益	△18	108	+127
親会社株主に帰属する中間純利益	2,385	679	△1,706

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

■セグメント別外部売上高（百万円）

売上高	前年同期	当中間期	増減
映像関連事業	1,871	1,841	△29
飲食関連事業	2,880	3,050	+169
不動産関連事業	4,600	5,227	+626
計	9,352	10,119	+766

■セグメント別営業損益（百万円）

営業損益	前年同期	当中間期	増減
映像関連事業	△326	△328	△2
飲食関連事業	113	116	+3
不動産関連事業	617	726	+109
調整額	△449	△429	+19
計	△46	84	+130

<映像関連事業>

(映画興行事業)

『今日の空が一番好き、とまだ言えない僕は』『ヴァージン・パンク Clockwork Girl』『海がきこえる』等が高稼働したことから、前年同期比で増収となりました。

当中間期末の映画館数及びスクリーン数は前年度末と同じ7館18スクリーンです。なお、2026年1月31日を以て「シネ・リーブル池袋」（2スクリーン）が閉館する予定です。

(映画制作配給事業)

当中間期は、8作品を配給し、中でも映画『それいけ！アンパンマン チャポンのヒーロー！』『片思い世界』がヒットしましたが、その他の作品が低調であったことに加え、映画や字幕吹替の制作収入が減少したことから、前年同期比で減収となりました。

(ソリューション事業)

メジャー映画の盛況によりシネアド（映画館CM）の収入は増加したものの、当中間期に予定していたイベントが翌期へずれ込んだことから前年同期比で減収となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は1,841百万円（前年同期比1.6%減）、営業損失は328百万円（前年同期は営業損失326百万円）となりました。

<飲食関連事業>

（飲食事業）

主力業態の「串鳥」は、前期に出店した新店舗の売上が寄与したことから、前年同期比で増収となりました。

■飲食店及び販売店の店舗数

	前期末	当中間期末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	37	37	0
その他	9	9	0
飲食店 合計	46	46	0
販売店 合計	5	6	+1

以上の結果、飲食関連事業の売上高3,050百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は116百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

<不動産関連事業>

（不動産賃貸事業）

都内の賃貸オフィス市場の厳しさが増す中で、きめ細かいリーシング活動により賃貸物件が100%近い稼働率を維持し、前年同期並みの売上高となりました。

また資産効率向上を目的に、新たに商業ビル1物件を取得いたしました。

（中古マンション再生販売事業）

東日本不動産流通機構（東日本レインズ）によりますと、当中間期の首都圏の中古マンション市場は、成約件数、成約価格共に前年同期を上回り、引き続き好調に推移いたしました。当社グループにおいても、当中間期は販売件数を大きく伸長し、前年同期比で大幅な増収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は5,227百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は726百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間期末の資産合計は、前期末と比べて645百万円増加し、29,553百万円となりました。これは、流動資産その他が686百万円減少したこと、現金及び預金が290百万円増加したこと、商品が283百万円増加したこと、販売用不動産が184百万円増加したこと、投資有価証券が612百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前期末と比べて288百万円減少し、13,063百万円となりました。これは、繰延税金負債が300百万円増加したこと、未払金が381百万円減少したこと、長期借入金が268百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前期末と比べて934百万円増加し、16,489百万円となりました。これは、利益剰余金が610百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が421百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間期末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前期末より290百万円増加し3,914百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は216百万円（前年同期は162百万円の収入）となりました。この主な要因は、税金等調整前中間純利益974百万円、減価償却費165百万円、固定資産売却損益△872百万円、棚卸資産の増減額△502百万円、売上債権の増減額△166百万円、その他の資産の増減額692百万円、その他の負債の増減額△101百万円となったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、得られた資金は718百万円（前年同期は662百万円の収入）となりました。この主な要因は、有形固定資産の売却による収入1,779百万円、有形固定資産の取得による支出1,036百万円となったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は644百万円（前年同期は529百万円の支出）となりました。この主な要因は、長期借入による収入350百万円、長期借入金の返済による支出826百万円、自己株式の取得による支出99百万円となったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日付「2025年3月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,623,702	3,914,619
受取手形、売掛金及び契約資産	531,120	697,514
商品	217,804	501,190
販売用不動産	2,696,890	2,880,942
貯蔵品	39,818	38,489
その他	1,779,690	1,093,357
貸倒引当金	△9,150	△16,452
流動資産合計	8,879,876	9,109,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,525,660	3,168,515
機械装置及び運搬具（純額）	169	0
工具、器具及び備品（純額）	281,415	305,070
土地	12,168,815	12,324,366
リース資産（純額）	542	339
建設仮勘定	41,351	49,548
有形固定資産合計	16,017,955	15,847,839
無形固定資産		
ソフトウェア	43,423	41,739
その他	3,655	3,805
無形固定資産合計	47,079	45,545
投資その他の資産		
投資有価証券	3,378,265	3,991,141
差入保証金	394,997	377,289
繰延税金資産	81,674	78,034
その他	168,394	164,356
貸倒引当金	△60,405	△60,405
投資その他の資産合計	3,962,926	4,550,415
固定資産合計	20,027,961	20,443,800
資産合計	28,907,837	29,553,462

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	978,231	951,657
1年内返済予定の長期借入金	1,504,472	1,296,749
リース債務	442	373
未払金	787,360	405,943
未払法人税等	56,629	216,871
前受金	203,145	172,852
賞与引当金	217,376	229,301
その他	348,372	495,104
流動負債合計	4,096,031	3,768,853
固定負債		
長期借入金	4,676,376	4,407,750
リース債務	150	—
長期末払金	669	—
長期預り保証金	826,474	817,035
繰延税金負債	1,474,261	1,774,811
再評価に係る繰延税金負債	875,721	875,721
退職給付に係る負債	959,341	973,352
資産除去債務	443,381	446,368
固定負債合計	9,256,377	9,295,039
負債合計	13,352,408	13,063,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,736,741	3,735,937
利益剰余金	5,609,951	6,220,088
自己株式	△1,429,344	△1,521,944
株主資本合計	12,469,988	12,986,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,200,299	1,621,511
土地再評価差額金	1,857,368	1,857,368
その他の包括利益累計額合計	3,057,667	3,478,880
非支配株主持分	27,772	23,967
純資産合計	15,555,428	16,489,569
負債純資産合計	28,907,837	29,553,462

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	9,352,575	10,119,183
売上原価	7,041,550	7,674,644
売上総利益	2,311,024	2,444,538
販売費及び一般管理費		
役員報酬	124,546	133,426
広告宣伝費	27,776	17,808
人件費	1,137,079	1,126,960
賞与引当金繰入額	161,123	158,067
退職給付費用	48,647	29,013
賃借料	160,018	155,812
水道光熱費	92,877	93,558
貸倒引当金繰入額	2,926	7,302
その他	602,056	638,167
販売費及び一般管理費合計	2,357,051	2,360,117
営業利益又は営業損失（△）	△46,026	84,421
営業外収益		
受取利息	153	1,014
受取配当金	48,355	67,364
貸倒引当金戻入額	872	—
その他	9,263	4,180
営業外収益合計	58,645	72,560
営業外費用		
支払利息	27,277	45,606
借入関連費用	2,361	2,035
その他	1,144	351
営業外費用合計	30,783	47,993
経常利益又は経常損失（△）	△18,164	108,987
特別利益		
固定資産売却益	3,517,295	872,442
資産除去債務戻入益	22,946	—
特別利益合計	3,540,242	872,442
特別損失		
固定資産除却損	23,592	6,016
減損損失	49,914	—
事業所閉鎖損失	7,282	1,048
特別損失合計	80,788	7,065
税金等調整前中間純利益	3,441,289	974,365
法人税、住民税及び事業税	362,462	188,530
法人税等調整額	696,584	110,545
法人税等合計	1,059,047	299,076
中間純利益	2,382,241	675,288
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△3,102	△3,805
親会社株主に帰属する中間純利益	2,385,344	679,094

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	2,382,241	675,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109,265	421,212
その他の包括利益合計	109,265	421,212
中間包括利益	2,491,506	1,096,500
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,494,609	1,100,306
非支配株主に係る中間包括利益	△3,102	△3,805

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,441,289	974,365
減価償却費	166,848	165,593
減損損失	49,914	—
株式報酬費用	1,149	2,585
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,054	7,302
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,057	11,925
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△66,215	14,010
受取利息	△153	△1,014
受取配当金	△48,355	△67,364
支払利息	27,277	45,606
固定資産売却損益 (△は益)	△3,517,295	△872,442
資産除去債務戻入益	△22,946	—
固定資産除却損	23,592	6,016
商品評価損	9,000	36,390
棚卸資産の増減額 (△は増加)	216,083	△502,502
売上債権の増減額 (△は増加)	△446,038	△166,394
仕入債務の増減額 (△は減少)	388,017	△26,574
その他の資産の増減額 (△は増加)	48,953	692,776
その他の負債の増減額 (△は減少)	△91,022	△101,781
小計	192,210	218,499
利息及び配当金の受取額	48,509	68,379
利息の支払額	△28,449	△45,025
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△49,545	△25,383
営業活動によるキャッシュ・フロー	162,724	216,470
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	476,681	1,779,380
有形固定資産の取得による支出	△3,003,401	△1,036,012
無形固定資産の売却による収入	3,190,106	—
無形固定資産の取得による支出	△64	△10,017
その他の収入	13,928	5,510
その他の支出	△14,445	△20,190
投資活動によるキャッシュ・フロー	662,805	718,670
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入れによる収入	460,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△762,624	△826,349
リース債務の返済による支出	△212	△219
自己株式の取得による支出	△55,627	△99,147
配当金の支払額	△71,004	△68,506
財務活動によるキャッシュ・フロー	△529,468	△644,223
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	296,061	290,917
現金及び現金同等物の期首残高	2,400,746	3,623,702
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,696,808	3,914,619

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金	2,696,808千円	3,914,619千円
現金及び現金同等物	2,696,808千円	3,914,619千円

（セグメント情報等の注記）

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	映像関連事業	飲食関連事業	不動産関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,871,610	2,880,708	4,600,255	9,352,575	—	9,352,575
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,459	3,300	718	5,478	△5,478	—
計	1,873,070	2,884,009	4,600,974	9,358,053	△5,478	9,352,575
セグメント利益又はセ グメント損失（△）	△326,777	113,231	617,023	403,476	△449,503	△46,026

（注）１ セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△449,503千円には、セグメント間取引消去△2,146千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△447,357千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２ セグメント利益又はセグメント損失（△）は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：千円）

	報告セグメント				全社・消去	合計
	映像関連事業	飲食関連事業	不動産関連事業	合計		
減損損失	49,914	—	—	49,914	—	49,914

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	映像関連事業	飲食関連事業	不動産関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,841,739	3,050,199	5,227,243	10,119,183	—	10,119,183
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,560	3,861	1,449	6,871	△6,871	—
計	1,843,299	3,054,061	5,228,693	10,126,054	△6,871	10,119,183
セグメント利益又はセ グメント損失（△）	△328,896	116,809	726,135	514,048	△429,626	84,421

（注）1 セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△429,626千円には、セグメント間取引消去△1,916千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△427,710千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。